

## 令和5年度 事業報告書

令和5年6月1日から令和6年5月31日まで

特定非営利活動法人 G-net

### 1 事業の成果

挑戦する人と企業が、就職採用という狭義なものではなく、暮らしや日常に溶け込む形で出会える仕組みを作りたい。そう願って始めた2つの取り組み「地域の人事部」と「東海ヒトシゴト図鑑」。

2023年は、その意味や価値が何か？本当に地域や人に求められるものは何か？を試行錯誤し続けた1年でした。まだまだ自立した事業とは言えない状況ですが、パートナー企業への就職を決めた事例や、企業同士が連携して人材採用・育成に向き合う事例が生まれるなど、1年経ってようやく、確かな手ごたえと呼べる瞬間が生まれてきています。

また、コロナ禍をきっかけに事業停止状態にあったキャリア支援領域においても、教育機関との連携が加速し、実践型インターンシップに挑戦する事例も復活してきています。

「地域の人事部」は、地域企業のつながりをより強固にし、「東海ヒトシゴト図鑑」は、若者と地域企業が出会う新たなきっかけになり始めています。

#### ① 能登半島地震をきっかけに、岐阜からできる継続的な防災支援の体制構築へ

「災害支援基金ネットワーク」に参画し、スタッフ2名を「能登復興ネットワーク」及び、「のと復耕ラボ」にのべ5週間にわたり派遣しました。現地で奮闘する中間支援組織の間接的な支援や、ボランティアの受け入れマネジメントのフォローなど、現地でできる支援と岐阜からリモートができる支援を整理し、継続的なサポートを続けています。また、震災支援事例の紹介や、防災勉強会の企画などを通じて岐阜エリアを中心とした企業や大学と連携した防災支援ネットワークづくりを始めました。

#### ② 「長期実践型インターンシップ入門（ミネルヴァ書房）」発刊

名古屋産業大学今永教授の編著のものと、G-netやチャレンジ・コミュニティプロジェクトのコーディネート団体など20名以上が制作に参画し、その知見やノウハウが詰め込まれた書籍を出版しました。2004年よりスタートしたホンキ系インターンシップ事業の、20年間にわたる事例や知見が盛り込まれています。「インターンシップとは？」という基礎的な内容はもちろん、実践型インターンシップの卒業生100名以上に追跡調査を実施し、インターンシップの本質的な効果を検証。豊富な実践者のインタビュー事例と共にまとめています。

#### ③ フリーランスパートナーシップアワードにて大賞・審査員特別賞を受賞

一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会主催の第5回「フリーランスパートナーシップアワード2023」において、ふるさと兼業の活用をきっかけに生まれた2つのプロジェクトがそれぞれ「大賞」「審査員特別賞」を受賞しました。一般社団法人ONE Xが伴走した大田区役所様のプロジェクトと、一般社団法人わくわくスイッチが伴走した山二造酢株式会社様のプロジェクトです。過去5回に渡り、ふるさと兼業の事例がファイナリストに選出され続けていくように、引き続き地域企業のモデル事例となるプロジェクトを生み出していくます。

#### その他、2023年度の主な出来事

- ・東海ヒトシゴト図鑑による教育機関向けサポート事業を開始
- ・自治体向けのインターンシップ支援を開始
- ・「ルーキー・オブ・ザ・イヤー in LOCAL」実行委員会立ち上げ
- ・「東海の経営力向上委員会」発足

## 第1回「ルーキー・オブ・ザ・イヤー in LOCAL 2024」を開催

「ローカルで活躍する若者のロールモデルを作る」

地域で主体的に働く若者にスポットライトをあてるアワード。株式会社ことろどと連携し、第1回（宮崎開催）では、ファイナリスト8名が選出され、やりがいや葛藤、また生み出した成果をプレゼンした。ミギウデとして奮闘する船橋（株）の○さんが大賞を受賞。ローカルルーキーのコミュニティが生まれている。

## シェアプロ

ふるさと兼業越境研修プログラム「シェアプロ」全国10地域と連携し全国に拡大

「シェアプロ」は受入企業61社、200名が参加するプログラムに。23年度は、全国10地域と連携し、全国各地で地域課題解決と人材育成を両立できるプログラムの開発を進めた。越境学習イベントに48社68名が参加し、モニターツアーには11社18名が参加し、新たな研修導入企業が出てきている。

## 東海圏の36大学へのヒアリングを実施し、「地域連携を活用したキャリア教育」に関する調査レポートを制作

調査を通して見えてきた大学ごとの課題感を整理し、具体的な地域と連携したキャリア支援プログラムの事例や教育的効果の高いプログラム実施に必要な視点を手引きとしてまとめた。このレポートをきっかけに、新たな協働プログラムも生まれている。

大学向けに実施した調査レポートをもとに、地域企業と連携した新たなキャリアプログラムや授業がスタートしています。また、高校でも各学校の状況に合わせた地域企業をキャスティングし、学びや気づきが醸成できるような探求学習のコーディネートを実施。授業やプログラムを通じて出会った地域企業に実際に学生や生徒が訪問し、インターンシップに参加する動きが出てきています。

## 若者向け事業

若者と地域の段階的な接点を通じたキャリア自律と担い手としての成長ステップ

地域と若者との多様な接点創出を通じて、地域の当事者として次世代を支える人材育成に取り組んでいます。多様な出会いで若者達の興味関心を醸成し、踏み込む挑戦機会で課題やビジョンに対するオーナーシップを育みます。

## 役割 出会いと関わりシロを影響し、若者の変化と成長に伴走します

### つながるキャンパス／高校大学連携

つながるキャンパスは、世代や距離を超えた「つながり」を生み出すオンライン上のキャンパスを通して、多様なキャリアモデルと交流、学び合う機会を提供しています。「Co-Innovation University（仮称）」開学に向けた実践型カリキュラムづくりや高校生の卓球学習の授業連携、大学のキャリアプログラムでの連携にも着手しています。

### 社会連携ゼミ／地域留学

地域や社会の中で今まさに取り組まれているリアルな挑戦をテーマに、オーナーと学生が共に学ぶゼミプログラムです。実地でのフィールドワークなども実施し、地域や社会に対する興味を深め、探究していく機会を提供します。

### シゴトリップ

1日単位から地域に会える、経営者・社員インタビュー＆現場見学型のインターンシップです。

### ホンキ系／大学連携型インターンシップ

2ヶ月以上の長期間、地域企業の経営者の元で挑戦する実践型インターンシップ。商品開発やマーケティング、新規事業作りなど多様なテーマに挑戦し、事業を生み出す経験と課題解決に挑む当事者としての成長をサポートします。

### 伴走型キャリアサポート

コーディネーターが長期間にわたり1対1の面談を通して伴走します。キャリア観・仕事観を磨きながら若者ながら若者自身が当事者意識を持ち、自律的に選択できる人材へ成長をサポートします。



変化・成長により  
地域への当事者性が磨かれる  
「地域」でのキャリアが  
選択肢のひとつになる

### 東海ヒトシゴト図鑑／ふるさと兼業

地域企業の経営者や企業が挑戦していることなど、企業・シゴト・ヒトそれぞれに焦点を当てた深みある企業情報と合わせて、インターンシップを始め兼業副業、就職までの多様な関わりを提示しています。

⇒ 自律したキャリア選択ができる人材／地域の未来を担う人材へ

### 地方創生アクセラレータープログラム

「自分の地元を残し続けたい」「地域をフィールドにこんなビジネスをやりたい」といった信念を持つ若者がプログラムに参加。プログラム後にゲスト起業家が奮闘する地域に訪問する参加者や、自身のビジネスプランを形にしようと試行錯誤を始める参加者が生まれており、地域に対して当事者意識を持ち、未来に向けて行動を始めるきっかけになっております。

### 東海ヒトシゴト図鑑

「外に出る気はないけれど、特段好きな所があるわけではない」という声が東海出身の若者に多い中、人・文化・歴史など「知れば面白い」ものに触れるきっかけを作り、地域を知った上で自律的なキャリア選択ができる若者を増やしたいという想いから始まった取り組み。プログラムを通じて、7名の若者が有志で「ギフトティティ実行委員会」を結成し、新たに2つの「ギフトティティ」プロジェクトが動き始めています。

### 高校大学連携

大学向けに実施した調査レポートをもとに、地域企業と連携した新たなキャリアプログラムや授業がスタートしています。また、高校でも各学校の状況に合わせた地域企業をキャスティングし、学びや気づきが醸成できるような探求学習のコーディネートを実施。授業やプログラムを通じて出会った地域企業に実際に学生や生徒が訪問し、インターンシップに参加する動きが出てきています。

### 企業向け事業

人が集まる魅力的な企業へ 変革をサポートする、長期的な伴走支援

人と地域との接点、関わりシロのコーディネートを通じた「人が集まる地域・企業」づくりに取り組んでいます。多様な人材との共創機会が、地域の課題の可視化や挑戦の推進に繋がり、結果として地域や企業そのものの変革を推進します。長期的な視野をもって伴走を続け、企業と人の好循環を生み出していくきます。

## **価値観 消費する人材戦略から、投資する人材戦略へ**

人材をどう集めるか、どう見せるかといった「露出増や接点創出への投資」だけでは、短期的成果は生み出せても、常にコストをかけ続けなければいけません。企業自身の成長を軸に魅力的な企業への変革を促し、人が集まる状態を生み出す人材戦略を目指します。多様な人材を惹きつける挑戦性と人を活かす柔軟性を備えた、選ばれる企業づくりが大切だと考えています。

## **役割 刹那的なマッチング支援でなく長期的な企業変容（成長）支援**

社員をはじめとした多様な人材の力を引き出し・活かせる組織への変容と、挑戦が生まれる風土づくり、そして魅力的な事業創出に取り組む企業への変容が、人材からの求心力・ブランド力を高めるサイクルを生み出します。企業のフェーズに寄り添った段階的な変容をサポートします。

**人材を活かせる組織へ変化し、人材が活きる挑戦フィールドとして探求力が高まっていくことで  
挑戦意欲のある新たな人材を引き寄せる**

## **地域向け事業**

**地域全体で協力し合うことで、持続可能な人材確保・育成の好循環を生み出す**

G-netは、地域の中小企業が直面する人材確保・育成・定着の課題に対して、地域全体で連携して取り組む仕組みづくりを進めています。個社ごとの伴走支援にとどまらず、企業のコミュニティ形成を促し、共に学び合い、共に人材を育てあうことで、地域中小企業の面でのブランド化を促進します。

## **役割 多種多様な機関との協働と企業コミュニティ形成による 新しい地域支援の形「地域の人事部」の運営**

個社ごとの人材課題解決に寄り添うだけでなく、多様なセクターと連携することで、企業同士の協働を促し、地域全体で人材を確保し育成できる仕組み作りを進めています。地域の人事部が、地域企業を横断的に支援し、人材との接点創出から、育成の支援、企業同士の学び合いで、総合的にサポートする拠点となることで、企業が個社で対応しきれない人材課題解決の推進と、持続的な人材確保の好循環を生み出していくきます。

- 地域密着型 エリアコーディネーターを起点とした人事部（小規模自治体を中心に展開）
- 企業協働型 東海の経営力向上委員会の取り組みをベースとした人事部

⇒ 人が集まる魅力的な域内企業群へ

## **機能 短期的なマッチングだけでなく、長期的な土壤作りにまで踏み込む5つの支援機能**

### **地域の人事部（地域密着型）**

愛知県豊田市、東栄町との連携した地域の人事部事業が拡大。企業同士が連携した共同人事戦略の策定や、共同求人の作成などの支援のほか、自治体と連携し、自治体と地域を行き来するインセンシップのプログラム開発や中高生向けの地域企業連携型キャリア教育プログラムの試験実施など試行錯誤を続けています。また「地域人事部アライアンスネットワーク」と連携し、全国各地との学び合いの場づくりが進んでおり、東海圏においても地域の人事部事業の実施地域が増えています。

西尾市：リラックスした交流環境の中で、参加企業や学生の双方が気軽に情報収集できる場となりました。西尾市という限られた地域の中でも多様な企業、人材がいて、キャリアの可能性があることを改めて認識する機会になっています。

瑞浪市：勤務先での業務に加え、研修や交流会を通じて、勤務先以外の企業や地域の人々と繋がる機会となり、ワーキングホリデー終了後も、参加者同士や地域の人々との繋がりが続いている。

#### 地域の人事部（企業協働型）

新たな事業の挑戦・組織づくりに前向きな企業と出会える web として、大学や高校の授業で教材として活用され始めています。また、インターンシップや就職の問い合わせも増えてきており、地域企業と若者をつなぐ WEB プラットフォームとして機能し始めてきました。

相互訪問や、月 1 回の意見交換を通じ、共通する課題意識を持った企業同士の情報共有や学び合いができるようになりました。挑戦的な企業が集うことで参加企業のモチベーションも高まっています。企業発案で始まった「若者の工場見学ツアー」では、若手社員による自社工場紹介を互いにし合うことで、自社理解とプレゼン力を高めるほか、同世代の仲間づくりにもつながっています。

#### 社会人向け事業

##### 誰もが地域への関わり方を選択できる仕組み、環境づくり

様々な事情で地域を離れていても、地域に関わり続ける仕組みづくりを進めています。本業や居住地など置かれた状況に左右されず、意欲次第で挑戦できる環境を整えることで、地域へ人材還流を促進します。

##### ふるさと兼業越境研修シェアプロ シェアプロ

地域課題をフィールドに、本業では経験できない実践機械に飛び込む越境型学習プログラム

ふるさと兼業越境研修プログラム「シェアプロ」は、ふるさと兼業のコーディネートノウハウを活かし、越境学習をベースとした社外研修プログラムです。地域課題解決や地域創生の現場にチームを組んで越境し、新たなイノベーション創出に取り組むことで、社員の成長と地域課題の解決を両立することができます。企業の課題や状況にあわせてよりニーズにあった提案ができるよう、新たにフィールドワーク型プログラムを開発、全国エリアの展開を開始しました。

2018 年から開始した大手企業 × 地域企業の越境研修プログラムを多数の大手企業の導入が進み、研究論文や書籍でも紹介され、注目されるようになりました。魅力的で意欲ある地域企業とのマッチング・伴走はもちろんですが、大手企業の課題感や目的ごとに、実施地域や研修内容をアレンジできることが本プログラムの強みとなっています。

「シェアプロ」の全国拡大に向けて 10 地域と協働でプログラムを開発。大手企業人事や人事研修のプロフェッショナルの協力のものと、人材の育成と地域課題を両立できる研修内容を作りあげました。また、地域と研修生をつなぐコーディネート機能強化の取り組みも始まっています。

2026 年開学を目指す Co-Innovation University (仮称) のリカレントプログラムとの連携など、地域課題解決を推進する新たな事業モデル創出に挑戦しています。

#### ふるさと兼業

愛する地域や共感する事業に、プロジェクト単位でコミットできる副業兼業プラットフォーム

地元に関わりたい、自分の隙間時間を使って関心がある企業や事業、地域に関わりたい、自身の成長やキャリア自律に取り組みたいと熱量や思いを持っている方たちへ、副業や兼業という新しい働き方をコーディネートしています。コーディネーターが伴走することでミスマッチを減らし、プロジェクトの推進をサポートします。働くことに対する価値観も大きく変化する中で、個人の希望や条件にあった新しい働き方の選択肢を増やし、誰もが挑戦できる仕組みを整えていきます。

2019年より開催されているフリーランスパートナーシップアワードにおいては、ふるさと兼業の事例が全5回連続でファイナリストに選出されています。企業と人材の良好なパートナーシップ構築とプロジェクト成果を高く評価されての受賞です。地域企業と多様な働き方を望む人材にとってモデルとなる事例を全国各地で生み出し続けていきます。

#### お試し事業継承・C×O

週1日から運営幹部にもなれる。

0か100かの就業移行から、グラデーションあるキャリアチェンジへ

事業承継や新しく経営幹部を迎えることを考える経営者と挑戦意欲ある候補者が一定期間共に事業運営に取り組むことで、効果的かつミスマッチのないマッチングをサポートします。段階的な所属の仕方や責任の移行をサポートすることで、ライトな副業とも転職とも異なるグラデーションがある新しい働き方を可能にすると同時に、地域との多様な関わり方を増やしていく一つ手段になると考えています。

期間限定の兼業・プロボノマッチングだけではなく、長期的な関係性を築いたり、組織体制が変化している事例も出てきました。「お試し転職」プログラムでは、週1兼業を経て1名の正社員登用が実現。同時期に、別のプロジェクトから継続的に関わっていた中からもう1名入社しました。通常の採用手法では出会えなかった、柔軟性の高い前のめりな人も「ライフワークとして副業兼業という形で関わり続けていきたい」など新しい働き方への挑戦を通して、社会貢献へ繋がる活動をしています。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(単位:千円)
インターンシップコーディネート事業	<p>一ホンキ系インターン事業 企業の事業加速と若者の成長を応援する長期実践型インターン「ホンキ系インターンシップ」事業における、学生と企業のコーディネート。</p> <p>一ぎふ地域留学 大学進学や就職など20代の県外流出が続く岐阜の課題に向き合い、社会に飛び出す前に、地域や人の魅力に出会える「ぎふ地域留学」</p> <p>一地方創生アクセラレータープログラム 地域活性化のリアルを、地域が直面する様々な課題に立ち向かう“最前線”的起業家の実践に学び、地方創生に取り組む若者の可能性を広げる半年間のプログラム</p> <p>一まちしるツアーギフンティティ まちの文化や歴史、産業といった“地域の成り立ち”について、地域をつくる人を訪れる1dayツアープログラム</p>	(A)6月1日～5月31日 (B)東海地域 (C)10人	(D)全国の若者と東海地域の企業・団体、全国の企業・団体 (E)不特定多数に対し普及活動を実施  地域と若者の接点総数 ▼知る・出会う … 1801名 授業、イベント、会員(登録者)など ▼体験し知見を広げる … 150名 シゴトリップ、短期プログラム ▼実践し深める … 13名 実践型インターンシップなど  ・地方創生アクセラレータープログラム 参加者 22名 ・社会連携ゼミ 参加者 8名 ・キャリアの祭典 参加者 10名  ・まちしるツアーギフンティティ 実施回数 2回 参加者のべ 9名 ・シゴトリップ 参加者 75名 ・実践型インターンシップ 参加者 5名  大学連携 ・授業登壇回数 17回 ・インターン等の連携数 4大学 ・連携高校数 2高校  その他、不特定多数に対し普及活動を実施	106,150
一プロボノ・兼業支援事業	<p>『ふるさと兼業』は、愛する地域や共感する事業にプロジェクト単位でコミットできる兼業プラットフォームです。</p> <p>多様な働き方の推進や地方創生の加速を目的に、課題を抱えながらも新規事業に挑戦する地域企業と、本業を辞めずに地元や共感する事業に関わりたい</p>	(A)6月1日～5月31日 (B)全国 (C)20人	(D)全国の企業、若者、社会人 (E) ・登録者数 8,402名 ・掲載プロジェクト数 94件 ・マッチング人数 164名 ・地域パートナー 27団体  ・お試し転職 マッチング 1社 4名 → 1名入社 ・お試しC×O マッチング 3社 4名	

	都市部の若者をつなげる。全国の27地域と連携しながら運営。		<ul style="list-style-type: none"> <li>→3名継続</li> <li>・越境研修プログラム「シェアプロ」 受入企業 14社 研修参加者 70名</li> <li>・全国展開 連携地域 10地域 モニターツアー参加企業数 11社 18人 イベント・プログラムへの参加 者数 48社 68人</li> </ul> <p>その他、不特定多数に対し普及活動を実施</p>	
	<p>ー令和5年度中部経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業(中部経済産業局)</p> <p>中部地域の中小企業等自らが必要な人材を確保できるようになるため、多様な人材及び新しい働き方の受け入れができるような意識啓発及び採用力を支援する事業を実施した。併せて人材確保にかかるモデル事例を創出し、広く横展開を図る。</p>	<p>(A)6月1日～3月31日 (B)東海北陸地域 (C)20人</p>	<p>(D)東海北陸地域の企業と人材 (E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副業・兼業等外部人材の活用普及促進セミナー 実施回数 2回 参加企業 87社</li> <li>・採用力向上セミナー 実施回数 2回 78社</li> <li>・地域内人材(橋渡し役)育成セミナー 2回 53社</li> <li>・企業と人材とのマッチングイベント 参加企業数:39社 43名 参加者数:160名 (申込者数:342名) マッチング企業数:37社 59名</li> <li>・多様な人材活用セミナー 参加企業数 37社 参加人材数 36名</li> <li>・普及啓発シンポジウム 実施回数 1回 参加者数 117名</li> <li>・外部人材定着促進イベント 実施回数 1回 参加者数 92名</li> <li>・フォローアップ調査 ヒアリング件数 10社</li> <li>・事例記事発信件数 5件</li> </ul> <p>その他、不特定多数に対し普及活動を実施</p>	
	<p>ー観光まちづくりサポート事業運営業務(公益財団法人東京観光財団)</p> <p>東京都内の観光協会等が抱える運営上の様々な課題の解決</p>	<p>(A)6月1日～3月31日 (B) (C)9人</p>	<p>(D)東京都観光協会、社会人 (E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会向け説明会 第1回 2協会 第2回 2協会</li> <li>・マッチング</li> </ul>	

	<p>に向け、企業等の職務経験を通じて得た専門技術や能力を有する人材「プロボノ人材」を活用した支援を行うことで、団体の活動基盤を強化し、観光を通じた地域の活性化や魅力の向上につなげる。</p>		<p>2 協会 7 名        • キックオフ研修会        受入団体 1 協会 1 名        プロボノ参加者: 7 名        • 中間研修会        受入団体 2 協会 2 名        プロボノ参加者: 7 名        • 情報交換会        2 協会        • 最終報告会        受入協会: 2 協会 2 名        プロボノ参加者 6 名</p>	
	<p>一人材確保力強化支援業務        (豊田市)</p> <p>人材課題に悩む中小企業に対して、踏み込んだ伴走支援を通じたコンサルティングや具体的な人材マッチング支援を行う。</p> <p>また、長期的な目線で若年層と地域企業の接点創出や支援機関同士の連携を強化するプラットフォーム構築にも同時に取り組む。</p>	<p>(A) 6 月 1 日        ~3 月 31 日        (B) 愛知県豊田市他        (C) 10 人</p>	<p>(D) 豊田市の企業、全国の社会人        (E)        • キックオフセミナー        申込 19 社、参加 15 社        • 支援企業 12 社        • 副業・兼業やプロボノなど外部人材活用        マッチング 2 社 3 名        トヨタ自動車先進技術カンパニー等と連携した研修マッチングモデル 1 社 3 名        • 地域協働型インターンシップ        10 社 22 名        • インターンシップ設計・実践セミナー        企業 9 社、支援機関 1 社        • 地域協働型インターンシップ        設計相談会 5 社        • 小中学生向けの職場見学会        小学生 6 名、中学生 3 名、        高校生 1 名 計 10 名        • 支援機関向け共有会        実施回数 3 回        • 人材確保・育成力強化セミナー        今年度参加企業 10 社        市内企業 15 社(申込 17 社)        • 意見交換会        実施回数 3 回          その他、不特定多数に対し普及活動を実施</p>	
	<p>一課題解決型人材活用支援事業        (名古屋市)</p> <p>副業・兼業等の多様な人材活用、活用に対する地域中小企業の意識変革と活用力の向上。</p> <p>地域産業の経営革新を推進する効果的な外部人材マッチング</p>	<p>(A) 6 月 1 日        ~3 月 31 日        (B) 名古屋市        (C) 10 名</p>	<p>(D) 名古屋市の中小企業、全国の社会人        (E)        • 意識啓発セミナー 33 社 34 名        アーカイブ配信 10 社 10 名        計 43 社 44 名        • 支援企業の募集・選定</p>	

	<p>の仕組み構築と事例創出。</p>		<p>20 社エントリー 10 社選定        •マッチング支援          エントリー50 名 のべ 57 名          10 社 18 名        •キックオフ研修          支援企業 10 社 13 名          マッチングした副業兼業人材          10 社 17 名        •事例報告会          副業・兼業人材活用促進セミナー          —          参加者 14 社 18 名          アーカイブ視聴 11 社 14 名          計 25 社 32 名          その他、不特定多数に対し普及活動を実施</p>	
	<p>一あいち里山ふるさと兼業事業        (愛知県交流居住センター)        経営課題をかかえる、三河山間地域にある事業者が、外部人材を活用した事業推進について学び、実際に、プロジェクトを設計し、外部人材を受け入れ、ともに、課題解決に挑む。</p>	<p>(A)6月1日～5月31日        (B)愛知県三河山間地域        (C)5人</p>	<p>(D)愛知県三河山間地域の事業者、全国の社会人        (E)        •導入セミナー・説明会 1回        •多様な人材マッチング          募集プロジェクト 3件          マッチング 3社 5名          その他、不特定多数に対し普及活動を実施</p>	
就職・採用支援事業、職業紹介事業	<p>一就職・採用支援事業        地域中小企業の社外人事部としてミギウデ人材の「育成・定着支援」事業として展開。単なる接点づくり・求人イベントの実施だけではなく、各プログラムを通じて「ミギウデ」人材となるよう、育成にも取り組みました。        「ミギウデ」はマッチング支援でなく、採用のマインドセットと、社外人事部機能 そして、組織変革の伴走サポート事業です。        採用戦略設計からマッチング支援、定着支援、研修サポート等、伴走支援を実施。</p>	<p>(A)6月1日～5月31日        (B)東海地域        (C)12人</p>	<p>(D)全国の若者、東海地域の企業        (E)        不特定多数に対し普及活動を実施</p>	17,232
	<p>一東海ヒトシゴト図鑑        地域企業の経営者や企業が挑戦していることなど、企業・シゴト・ヒトそれぞれに焦点を当てた深みある企業情報と合わせて、インターンシップを始め兼業副業、就職までの多様な関わりを</p>	<p>(A)6月1日～5月31日        (B)東海地域        (C)12人</p>	<p>(D)全国の若者、東海地域の企業        (E) 不特定多数          東海ヒトシゴト図鑑          ・認定企業数 77 社掲載          東海の経営力向上委員会          ・参画企業数 22 社</p>	

	提示。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会 9回</li> <li>・見学ツアー 3社</li> </ul> <p>その他、不特定多数に対し普及活動を実施</p>	
	<p>一令和5年度「地域・企業共生型ビジネス導入・促進事業補助金(地域戦略人材確保等実証事業)</p> <p>地域ぐるみのコミュニティ型人材支援プラットフォームの構築を通じた、地域企業が連携できる共同人材戦略の策定とマッチング機運の醸成。</p> <p>愛知県三河エリアに焦点をあて、「地域企業同士の横の繋がり作りと地域の人事部ネットワークの強化」と「若者からの継続的な認知を生み出す情報発信の仕組み作り」を目指し、実施する。</p>	<p>(A)6月1日～5月31日 (B)東海地域 (C)12人</p>	<p>(D)全国の若者、東海地域の企業 (E)地域の人事部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県豊田市 人材戦略支援 3社 就活フェア出展 計 51名 との接点獲得(1社/エントリー1名)</li> <li>・愛知県東栄町 町内4事業者の共同求人作成</li> <li>・地域の人事部カンファレンス・シンポジウム 参加者 158名</li> <li>自治体連携</li> <li>・愛知県西尾市 就活メシ 企業 10社 参加者 19名</li> <li>・愛知県瑞浪市 ふるさとワーキングホリデー受入企業 8社 参加者 10名 (エントリー者 40名)</li> </ul> <p>その他、不特定多数に対し普及活動を実施</p>	
コミュニケーション ビジネス・創業 経営支援事業	<p>一コミュニケーションビジネス・創業経営支援事業</p> <p>一伴走支援事業</p> <p>企業の経営革新・課題解決のため、企業の中長期的な経営戦略・組織戦略に基づいた、経営者との定期ディスカッション、必要に応じたプロジェクト設計のサポートを実施。</p>	<p>(A)6月1日～5月31日 (B)東海地域 (C)20人</p>	<p>(D)全国の若者、東海地域の企業 (E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間伴走企業 56社 伴走プロジェクト 60件 セミナー等で支援した企業数 のべ 271社</li> </ul>	3,765
その他、本法人の目的を達成するためには必要な事業	<p>一その他</p> <p>一ファンドレイ징事業</p> <p>一地域若者応援ファンド事業</p> <p>一講演事業</p>	<p>(A)6月1日～5月31日 (B)東海地域 (C)12人</p> <p>(A)6月1日～5月31日 (B)全国 (C)4人</p>	<p>(D)全国 (E)不特定多数</p> <p>(D)全国 (E)不特定多数</p>	630

## 令和5年度 活動計算書

令和5年6月1日から令和6年5月31日まで

特定非営利活動法人G-net

(単位:円)

科 目	金額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費 賛助会員会費個人	22,000	22,000	
2. 受取寄付金 受取寄付金	336,741	336,741	
3. 受取助成金等 受取補助金	10,630,766	10,630,766	
4. 事業収益 インターナショナルコードィネート事業収益 プロボノ・兼業支援事業収益 就職採用支援事業収益 伴走支援事業収益 その他事業収益	6,668,252 85,225,459 8,170,789 3,473,937 925,010	104,463,447	
5. その他収益 受取利息 受取配当金 雑収益	552 200 234,725	235,477	
<b>経常収益計</b>			<b>115,688,431</b>
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費 (1) 人件費 給料手当 雑給 法定福利費 福利厚生費 通勤費 人件費計	49,921,722  6,818,112 518,142 226,665 <b>57,484,641</b>		
(2) その他経費 広告宣伝費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 燃料費 光熱水道費 賃借料 保険料 諸謝金 租税公課 寄附金支出 委託費 交際接待費 通信費 諸会費 新聞図書費 地代家賃 会議費 奨学費 研修費 雑費 減価償却費 支払利息 その他経費計	10,107,413 4,379,441 144,561 554,237 969,636 94,288 596,063 930,128 518,686 1,847,420 1,439,918 382,145 38,146,612 218,237 1,188,670 582,039 275,499 2,162,755 1,958,324 518,845 180,332 1,389,846 1,347,117 360,421 <b>70,292,633</b>		
<b>事業費計</b>			<b>127,777,274</b>

<b>2. 管理費</b>			
(1) 人件費			
給与手当	601,843		
雑給	21,000		
法定福利費	82,309		
福利厚生費	1,116		
人件費計	<b>706,268</b>		
(2) その他経費			
広告宣伝費	4,154		
旅費交通費	3,098		
通信運搬費	254		
消耗品費	1,115		
印刷製本費	1,394		
燃料費	162		
光熱水道費	1,328		
賃借料	1,047		
保険料	971		
諸謝金	323		
租税公課	3,286		
寄附金支出	855		
委託費	4,468		
交際接待費	407		
通信費	2,649		
諸会費	916		
新聞図書費	600		
地代家賃	4,825		
会議費	1,546		
奨学費	1,155		
研修費	359		
雑費	3,063		
減価償却費	3,001		
支払利息	806		
その他経費計	<b>41,782</b>		
管理費計		<b>748,050</b>	
経常費用計			<b>128,525,324</b>
当期正味財産増減額			△ 12,836,893
前期繰越正味財産額			50,770,014
次期繰越正味財産額			<b>37,933,121</b>

**令和5年度 貸借対照表**

令和6年5月31日現在

特定非営利活動法人G-net

(単位:円)

科 目	金 額
<b>I 資産の部</b>	
<b>1. 流動資産</b>	
現金預金	83,458,512
未収金	10,759,044
未収入金	185,790
棚卸資産	653,070
前払金	196,000
仮払金	493,953
<b>流動資産合計</b>	<b>95,746,369</b>
<b>2. 固定資産</b>	
(1)有形固定資産	
建物付属設備	130,080
車両運搬具	1
什器備品	2
<b>有形固定資産計</b>	<b>130,083</b>
(2)無形固定資産	
<b>無形固定資産計</b>	<b>0</b>
(3)投資その他の資産	
出資金	10,000
預託金	11,200
<b>投資その他の資産計</b>	<b>21,200</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>151,283</b>
<b>資産合計</b>	<b>95,897,652</b>
<b>II 負債の部</b>	
<b>1. 流動負債</b>	
未払金	4,247,512
預り金	327,019
短期借入金	20,000,000
<b>流動負債合計</b>	<b>24,574,531</b>
<b>2. 固定負債</b>	
長期借入金	33,390,000
<b>固定負債合計</b>	<b>33,390,000</b>
<b>負債合計</b>	<b>57,964,531</b>
<b>III 正味財産の部</b>	
前期繰越正味財産	50,770,014
当期正味財産増減額	△ 12,836,893
<b>正味財産合計</b>	<b>37,933,121</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>95,897,652</b>

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
棚卸資産の評価基準は、最終仕入原価基準により評価方法は低価法によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。  
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜経理方式によっています。

### 2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	インターネッпп コーディネート事業	プロボノ・兼業 支援事業	就職採用支援事業	伴走支援事業	その他事業	事業部計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>								
1. 受取会費					0	22,000	22,000	
2. 受取寄付金	96,164	6,400,538	4,065,486	226,277	322,441	14,300	336,741	
3. 受取助成金等	6,668,252	85,225,459	8,170,789	3,473,937	870,464	10,466,024	164,742	10,630,766
4. 事業収益						104,408,901	54,546	104,463,447
5. その他収益					234,725		752	235,477
<b>経常収益計</b>	<b>6,764,416</b>	<b>91,625,997</b>	<b>12,236,275</b>	<b>3,473,937</b>	<b>1,331,466</b>	<b>115,432,091</b>	<b>256,340</b>	<b>115,688,431</b>
<b>II 経常費用</b>								
(1) 人件費								
給料手当	3,423,032	37,129,236	7,312,389	1,884,516	172,549	49,921,722	601,843	50,523,565
雑給					0		21,000	21,000
法定福利費	489,801	5,160,212	840,529	303,735	23,835	6,818,112	82,309	6,900,421
通勤費	33,288	90,015	72,787	30,575	0	226,665	0	226,665
福利厚生費	28,005	396,719	74,034	14,230	5,154	518,142	1,116	519,258
<b>人件費計</b>	<b>3,974,126</b>	<b>42,776,182</b>	<b>8,299,739</b>	<b>2,233,056</b>	<b>201,538</b>	<b>57,484,641</b>	<b>706,268</b>	<b>58,190,909</b>
(2) その他経費								
広告宣伝費	814,731	7,257,853	1,952,716	62,857	19,256	10,107,413	4,154	10,111,567
旅費交通費	510,662	2,307,047	1,108,870	367,782	85,080	4,379,441	3,098	4,382,539
通信運搬費	6,311	121,768	12,148	3,174	1,160	144,561	254	144,815
消耗品費	33,769	401,675	80,377	33,213	5,203	554,237	1,115	555,352
印刷製本費	60,617	817,362	67,387	17,815	6,455	969,636	1,394	971,030
燃料費	4,136	61,534	16,394	7,395	4,829	94,288	162	94,450
光熱水道費	35,638	473,153	64,284	16,841	6,147	596,063	1,328	597,391
賃借料	130,945	617,336	85,548	91,430	4,869	930,128	1,047	931,175
保険料	25,364	425,163	50,202	13,474	4,483	518,686	971	519,657
諸謝金	8,164	1,727,016	106,353	4,384	1,503	1,847,420	323	1,847,743
租税公課	80,993	1,147,304	154,082	42,636	14,903	1,439,918	3,286	1,443,204
寄附金支出	21,499	304,489	41,225	10,980	3,952	382,145	855	383,000
委託費	4,126,310	29,315,648	4,074,208	556,319	74,127	38,146,612	4,468	38,151,080
交際接待費	10,355	168,701	19,893	5,261	14,027	218,237	407	218,644
通信費	66,860	947,115	128,555	33,838	12,302	1,188,670	2,649	1,191,319
諸会費	193,177	328,306	44,024	12,268	4,264	582,039	916	582,955
新聞図書費	15,422	218,424	30,874	7,941	2,838	275,499	600	276,099
地代家賃	121,651	1,723,253	233,663	61,804	22,384	2,162,755	4,825	2,167,580
会議費	449,744	1,080,543	250,697	75,137	102,203	1,958,324	1,546	1,959,870
奨学費	29,185	413,408	55,956	14,924	5,372	518,845	1,155	520,000
研修費	22,759	129,193	22,110	4,591	1,679	180,332	359	180,691
雜費	94,392	1,093,717	148,195	39,333	14,209	1,389,846	3,063	1,392,909
減価償却費	75,773	1,073,362	145,883	38,156	13,943	1,347,117	3,001	1,350,118
支払利息	20,273	287,181	38,975	10,265	3,727	360,421	806	361,227
<b>その他経費計</b>	<b>6,958,730</b>	<b>52,440,551</b>	<b>8,932,619</b>	<b>1,531,818</b>	<b>428,915</b>	<b>70,292,633</b>	<b>41,782</b>	<b>70,334,415</b>
<b>事業費計</b>	<b>10,932,856</b>	<b>95,216,733</b>	<b>17,232,358</b>	<b>3,764,874</b>	<b>630,453</b>	<b>127,777,274</b>	<b>748,050</b>	<b>128,525,324</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 4,168,440</b>	<b>△ 3,590,736</b>	<b>△ 4,996,083</b>	<b>△ 290,937</b>	<b>701,013</b>	<b>△ 12,345,183</b>	<b>△ 491,710</b>	<b>△ 12,836,893</b>

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	1,701,284			1,701,284	△ 1,571,204	130,080
車両運搬具	362,408			362,408	△ 362,407	1
什器備品	703,618	1,220,040	1,220,040	703,618	△ 703,616	2
リース資産	1,836,000			1,836,000	△ 1,836,000	0
投資その他の資産						
ソフトウェア	496,000			496,000	△ 496,000	0
出資金	10,000			10,000		10,000
預託金	11,200			11,200		11,200
合 計	5,120,510	1,220,040	1,220,040	5,120,510	△ 4,969,227	151,283

4. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	20,000,000		20,000,000
長期借入金	35,000,000		1,610,000	33,390,000
合 計	35,000,000	20,000,000	1,610,000	53,390,000

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書) 給与手当	50,523,565	12,845,000	0
活動計算書計	50,523,565	12,845,000	0

## 令和5年度 財産目録

令和6年5月31日現在

特定非営利活動法人G-net

(単位:円)

科 目	金 額
<b>I 資産の部</b>	
<b>1. 流動資産</b>	
現金預金	
手許現金	1,267,751
十六銀行 柳ヶ瀬支店	59,099,862
十六銀行 柳ヶ瀬支店	3,597,866
十六銀行 柳ヶ瀬支店	16,639,031
十六銀行 柳ヶ瀬支店	7
十六銀行 柳ヶ瀬支店	281,193
十六銀行 柳ヶ瀬支店	27,785
岐阜信用金庫 本店	291,764
大垣共立銀行 岐阜駅前支店	1,822,508
大垣共立銀行 岐阜駅前支店	143,911
東海労働金庫 岐阜支店	178,100
東海労働金庫 岐阜支店	1,000
百五銀行 上前津支店	107,734
未収金	
NPO法人クロスフィールズ	3,630,000
株井上工務店	2,500,000
株ととりペファーム	637,500
株ランダムネス	612,000
株ローカルフラッグ 他	3,379,544
未収入金	
従業員社会保険料 他	185,790
棚卸資産	
販売用図書	653,070
前払金	
家賃 他	196,000
仮払金	
消費税還付金 他	493,953
流動資産合計	<b>95,746,369</b>
<b>2. 固定資産</b>	
(1)有形固定資産	
建物付属設備	
オフィスリノベーション工事	130,080
車両運搬具	
トヨタシエンタ	1
什器備品	
パソコン 他	2
(2)無形固定資産	
(3)投資その他の資産	
出資金	
岐阜信用金庫	10,000
預託金	
リサイクル料	11,200
固定資産合計	<b>151,283</b>
<b>資産合計</b>	<b>95,897,652</b>

<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金			
職員 紹与	2,516,783		
年金事務所	1,014,602		
委託費	400,000		
電気代 他	316,127		
前受金	0		
預り金			
源泉所得税	191,219		
住民税	135,800		
短期借入金			
日本政策金融公庫	20,000,000		
<b>流動負債合計</b>		<b>24,574,531</b>	
<b>2. 固定負債</b>			
長期借入金			
日本政策金融公庫	19,110,000		
大垣共立銀行	7,616,000		
岐阜信用金庫	6,664,000		
<b>固定負債合計</b>		<b>33,390,000</b>	
<b>負債合計</b>		<b>57,964,531</b>	
<b>正味財産</b>			<b>37,933,121</b>

前事業年度の年間役員名簿

令和5年6月1日から令和6年5月31日まで

特定非営利活動法人G-net

役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就任期間	報酬を受けた期間
代表理事	南田 修司	[REDACTED]	令和5年6月1日～ 令和6年5月31日	報酬無し
理事	秋元 祥治	[REDACTED]	令和5年6月1日～ 令和6年5月31日	報酬無し
理事	加藤 美奈	[REDACTED]	令和5年6月1日～ 令和6年5月31日	報酬無し
理事	田中 穎一	[REDACTED]	令和5年6月1日～ 令和6年5月31日	報酬無し
理事	田中 黙	[REDACTED]	令和5年6月1日～ 令和6年5月31日	報酬無し
理事	山川 晃生	[REDACTED]	令和5年6月1日～ 令和6年5月31日	報酬無し
理事	伊東 将志	[REDACTED]	令和5年6月1日～ 令和6年5月31日	報酬無し
監事	高木 朗義	[REDACTED]	令和5年6月1日～ 令和6年5月31日	報酬無し

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

令和6年5月31日現在

特定非営利活動法人G-net

氏 名	住 所 又 は 居 所
南田 修司	
加藤 美奈	
葛西 規子	
田中 勲	
上野 恵美	
兼松 愛	
掛川 遙香	
山田 恒子	
新井 みなみ	
高橋 ひな子	
志知 加奈	
中村 太郎	